

TOPICS 1

年金友の会 池田支部 総会

年金友の会池田支部では、6月4日（水）池田市民文化会館にて、総会を開催しました。総会終了後は三木ひろしのモノマネショーや抽選会を行い、会場は大いに盛り上がりました。



TOPICS 2

女性協議会 東郷支部 手芸講習会

女性協議会東郷支部では、6月12日（木）東郷支店会議室にて、手芸講習会を開催し、農作業やガーデニング時に使用されるアームカバーを作成しました。



TOPICS 3

ほく彩館 フラワーアレンジメント教室

6月16日（月）ほく彩館会議室にて、切り花の生産者を講師に迎え、フラワーアレンジメント教室を開催しました。今後も地産地消や地域農業の理解促進につながるイベントを開催していく予定です。開催案内は当JA公式LINE・インスタグラムにて発信しますので、是非ご登録ください。



TOPICS 4

実行組合長会連絡協議会 総会

JA大阪北部実行組合長会連絡協議会では、6月18日（水）本店会議室にて、総会を開催しました。農協を取り巻く情勢に速やかに対応できるよう各支部の日頃の活動が大きな役割を担っていることを再確認しました。



TOPICS 5

女性協議会 南豊島支部 親睦旅行

女性協議会南豊島支部では、6月19日（木）三重県方面へ日帰り親睦旅行を行いました。伊勢国一の宮である椿大神社を訪れた後、なばなの里にある国内最大級のベゴニアガーデン等園内の散策を楽しみました。



TOPICS 6

経営研究会 南豊島支部 日帰り視察

経営研究会南豊島支部では、7月1日（火）泉佐野漁港（大阪府泉佐野市）へ日帰り視察を行いました。水揚げされた魚介類は午後2時になるとサイレンと共に競りが開始され、仲介によって競り落とされた魚介類が店舗に並べられていました。



TOPICS
7 土壌分析

7月1日(火)営農生活部会議室にて、管内組合員の圃場(50件)の土壌分析を行いました。また7月下旬から土壌分析の結果をもとに、営農経済担当者による土壌分析結果の説明や営農指導が行われました。



TOPICS
8 准組合員モニター施設見学

7月8日(火)第2回目の活動として施設見学を実施しました。今回は営農生活事業に焦点を当て、能勢町にあるライスセンターや営農経済センター、最後にほく彩館に立ち寄りしました。各施設の管理者より取扱商品や各施設の役割について施設内を見学しながら説明を受け、JAや農業への理解を深めました。



TOPICS
9 全支店対象スマホ教室

今年度よりソフトバンク株式会社から講師を迎え、全支店を対象としたスマホ教室の開催しています。スマホが急速に普及する中、利便性の向上やデジタル化社会への対応が目的です。開催については各支店へお問い合わせください。



TOPICS
10 年金友の会 能勢東部会 親睦旅行

年金友の会能勢東部会では、7月10日(木)兵庫県淡路島方面へ日帰り親睦旅行を行いました。鳴門海峡のうずしおクルーズでは、満潮時間に合わせて乗船したため、しっかりと渦の確認ができました。昼食は淡路島海上ホテルまで南下し、淡路島の新鮮な食材を使った会席料理に参加者の皆さまにも満足していただけました。



TOPICS
11 細河支店 地域貢献活動

7月26日(土)池田市にある旧細河小学校のグラウンドにて「細河まつり25」が開催され、細河支店が夜店を出店しました。ほく彩館でも販売されている新鮮な果実を販売し、細河支店職員は地域の方と交流を楽しみました。



行政コラボ 能勢町・豊能町訪問

7月中旬から下旬にかけて、能勢町・豊能町を中井組合長が訪問し、各町長と地元活性化や職員採用等について意見交換を行いました。地方特有の人口減少や若者の地元離れといった状況が深刻化してきており、このことが町やJAにとって職員採用面でも共通する課題となっています。地元で活躍する人材を地元を求めるべく、両者が連携して採用募集の広報や共同で採用試験を実施するなど、地元採用につながるよう協働して取り組みができないか提案を行いました。



栗の防除作業

7月31日(木)管内の特産品でありなわの特産品として指定されている能勢栗の品質と生産性の向上及び栗栽培農家の負担軽減を図るために当JA職員が薬剤散布の受託作業を行いました。



ドローン農薬散布を実施

7月31日(木)能勢町野間稲地にある組合員の圃場でドローン(小型無人飛行機)を使った農薬散布を行いました。ドローンを使用することで1haの水田の農薬散布が約30分で完了します。本年度の受託面積は約135haでした。



読売テレビ「す・またん！」でほく彩館紹介

読売テレビ制作番組「す・またん！」の撮影が8月中旬に行なわれました。この日は、生産者の大谷浩司さん協力のもと、圃場でリポーターがオクラの収穫を体験し、生産現場の活気を紹介。ほく彩館へ移動し、大谷さんが来店客に直接販売する様子も取り上げられました。また、その新鮮なオクラを使い、当JA直売所職員が調理し、煮浸しやお吸い物を振舞いました。8月25日(月)の放送では、生産から販売、調理・試食に至るまでの流れを一貫して紹介する内容で、地元産野菜の鮮度と魅力が広く伝えられました。

